



# ホクレン・ディスタンス チャレンジ2024

千歳大会



## 応援をチカラに今年度前半戦を締めくくる!

北海道内を転戦するホクレン・ディスタンスチャレンジ大会の最終戦・第5戦の千歳大会が開催され、出場した5名の選手それぞれが自己記録や自分の立てた目標記録に挑み、田村選手は初めての3000m障害レースに挑戦しました。現地応援に駆けつけてくださった会社の方々の大きな声援に後押ししていただき、精一杯の走りを見せました。今大会で選手達は今年度前半の大会を終え、ここからは秋の駅伝に向けての鍛錬期間に入ります。



## 鈴木 樺連 選手

1500mB組 **10位 / 15名 4分29秒41**

ホクレン千歳大会では、1500mを走らせていただきました。とても暑中でしたが、会社の方々が現地に応援に駆けつけてくださり本当に嬉しかったです。ありがとうございました。今回も平凡な走りをしてしまい前半シーズンを終りましたが、例年通りだとシーズンインが秋以降だったのでこうやって春夏と試合に続けて出場できたことは成長を感じます。ですが目標に向かっていく中で課題はたくさんあります。これから夏合宿に入るので、練習が秋以降の試合に繋がるようしっかり走り込んでいきたいと思います。

## 田村 紀薫 選手

3000mSC **5位 / 16名 10分39秒66**

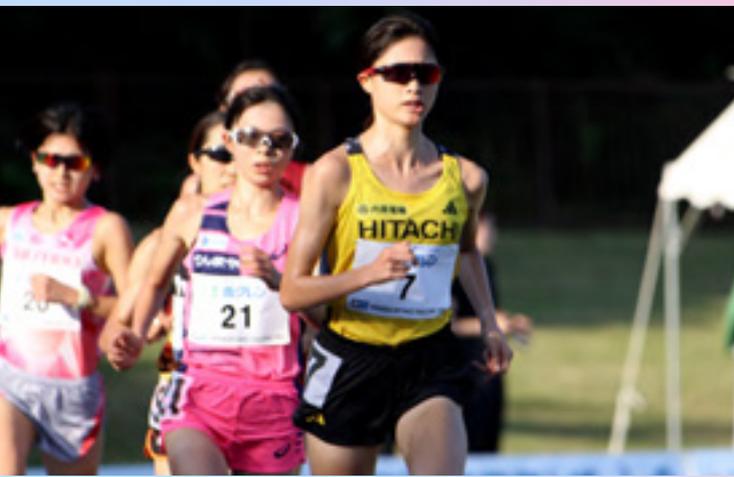
たくさんの応援をありがとうございました!今回は3000m障害に初挑戦させていただきました。本当は学生時代からずっとやりたいと思っていた種目でしたが、なかなか言い出せずにここまで来てしまいました。でもいつか現役を引退をするときに、やらなかったという後悔を残したくないという想いから思い切って挑戦を決めました。出場できただけでも一つの夢が叶ったような気持ちなのですが、再度この種目へ挑戦できるチャンスがあれば日本選手権の標準記録を突破することを目標に準備できたらと思います。ここからはレースがしばらくありませんが、秋冬シーズンに向けて地道に練習を積んでいきますので引き続き応援をよろしくお願い致します。



## 鈴木 千晴 選手

5000mD組 **3位 / 27名 16分04秒59**

応援いただきありがとうございました。先日の深川大会10000mの疲労はありつつも、今回はどれだけ粘れるかを大切に走り出しました。暑いコンディションの中でしたが、後半にかけて自分の持ち味である粘りの走りを出すことができ、良い形で前期のレースを終えることができました。自己ベストまであともう少しでしたが、どんな状態でも粘っていくという最低ラインが確実に上がってきていることは今後のマラソンに向けて得られた大きな収穫でした。ここまでの数カ月間は精神的な部分でタフな局面と向き合う時がありましたが、自分の想いを形にして走ろうと強く思うことができたのは、応援して下さる方々がいてくれるからこそです。そして私自身の座右の銘に新しく「まだまだ!これから」が加わりました。まだまだ自分の可能性を信じて夢に向かってチャレンジしていきたいです。ここからは夏合宿が始まり本格的に走り込んでいくので、秋以降のマラソン、駅伝へ身体をしっかりと作って行きたいです。



# 花野 桃子 選手

5000mC組 **4位 / 27名 16分07秒03**

応援ありがとうございました。今回は前回の土別大会よりも良い内容にしたいと思い走りましたが、最初に位置取りを失敗してしまい、後ろから上げていく展開になりました。

後半はきつい中で粘ることができましたが、前半から思い切って前に行けずに流れに乗れなかったことは課題なので、改善していけるように練習の中で取り組んでいきます。ホクレンの反省点を踏まえて夏合宿で走り込んでいき、秋の駅伝シーズンではもっと自信をもって走れるように頑張ります。今後も応援よろしくをお願いします。

# 奥本 菜瑠海 選手

3000m **2位 / 22名 9分26秒23**

先月の日本選手権 U20 大会に続いて今回も 3000mに出場し、現状の確認をすることができました。レースの展開としてはスタート直後から2番手のポジションで、前のランナーからリズムをもらいながらレースを進めました。ラストの1000mで離されて失速してしまいましたが、今の自分の課題をしっかりと把握することができました。これからは夏合宿が始まるので、次のレースに向けての足づくりをしてチームに貢献できるように頑張りたいと思います。今回もたくさんの応援ありがとうございました。



**応援ありがとうございました!**

